

*人間の神経波を利用する

自然の理に叶った低周波治療



大阪大学工学部工作センター長
工学博士 政 木 和 三

電子治療器「ヘルスアップ」の原理は、人間の神経に発生する神経波（学名、二相性活動電位波形）をトランジスタ回路によって人工的に発生させるもので、この小型の装置で横綱の大男の筋肉をも自由に動かすことができるわけです。

すなわち、ヘルスアップの中で神経と同じ信号（低周波）を発振させ、これを身体に接触すると普通の筋肉はもちろん、自分で動かすことのできない不随筋でも、ヘルスアップの指令によって自由に動きます。

この動かすための刺激点（体内を無数にはしている神経の末端のことで、東洋医学的にはツボと言っている）は中国の針麻酔と同じ場所で、例えば、首の下部にある刺激点（ツボ）にあてると横隔膜が動き、胃下垂が上り、ヒザの裏にあてると足首が運動をおこし、足の疲れの回復に役立っています。さらに、低周波による治療効果として、いろんな痛みをやわらげ、血行をよくする働きもありますので、シモヤケでかゆいカ所に2、3分あてたり、虫さされによるかゆいカ所に1分弱あてたりしますと、かゆ

みがなくなることもあります。

ごく最近の例であります、本年1月に大阪大学のS助教授が、顔の左半分がたるんで口も半ば開いたままの状態です。聞けば、一週間ほど前に顔面麻痺になり、医者へ行くと、治療には一年かかるので二週間に一回ずつ来院するようにと、今日、薬をもらって来た、とのことでした。

早速ヘルスアップを使用せよと渡し、一日に15分ずつ使用して四日目に顔の状態がまっすぐになったとのこと、その医者に見せると、奇跡が起きたとびっくりしたそうです。

今までの治験例でも、鳥取大学において、低周波による顔面麻痺の治療には大きな効果があり、学会にも発表されました。

現在、電気治療、電子治療は常識となり、健康保険でも取扱われるようになっていますが、低周波による電子治療が家庭でも行えるようになったのが昭和38年頃で、ヘルスアップは過去に使用されていた、やはり発明者である私が手がけた商品を更に使いやすく、より効果的に改良したものです。（普通の低周波治療器では、通電量が多すぎると火傷等を伴うので注意を要しますが、ヘルスアップは神経波電圧を用いているため、電流量が百分の一以下で同じ効果があるために、どんなにボリュームを強く使用してもいささかの心配もないものです）

自然に逆わない治療法が最良の効果を発揮します。最高造形物たる人間の神経に発生する神経波インパルスを利用することは、最も自然の真理に叶った治療法であります。

その意味でも、ヘルスアップは多くの方々がもつ不快感を取除く低周波電子治療器として、ご家庭でも、職場でも、ご旅行でも、スポーツ、レジャーでも、手軽に気楽に使用できる商品である、ということができます。

販売 株式会社 マサキン本舗（大阪市天王寺区生玉町58-21 TEL 779-3168代）

製造 兼松エレクトロニクス株式会社（兼松江商、電子部門）